

**Consul-General Ono's New Year Greetings at the 30th Anniversary of Establishment of Japanese Firms
Association of Colorado, on January 14, 2012**

新年おめでとうございます。

また、コロラド日系企業懇話会設立 30 周年おめでとうございます。

過去 30 年間の間に、国際社会は大きな変貌を遂げ、また、世界経済も大きく変化致しました。こうした時代の流れとともに、アメリカ西部山岳地帯と呼ばれる当地の経済環境も日々刻々と変化して参りました。この、必ずしも平坦な道のりばかりではなかったでありましょう 30 年の間、一貫して、我が国企業活動と地域社会の発展に尽力してこられた JFA 関係者の皆様に対して、先ずは、心から敬意を表したいと思えます。

年頭に当たって、我が国経済はもとより、昨今の世界経済を概観してみれば、このおめでたい席で申し上げるのはいささか気が引ける思いですが、残念ながら必ずしも楽観できる状況にはありません。

東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、我が国の景気は緩やかに持ち直しています。しかし、その一方で輸出は横ばい状態が続き、また企業収益も減少しています。雇用情勢についても、持ち直しの動きは見られるものの、全体としては依然として厳しい状況にあると言えましょう。このような環境にあつて個人消費はおおむね横ばい状態ですし、物価動向も穏やかなデフレ状況が継続していることは皆様ご存じのとおりです。

海外に目を転じて、ヨーロッパ地域における景気の持ち直しのテンポが遅くなっていることもあり、世界経済の回復に向けた動きは全体として弱まっています。加えて、財政規律の確保に向けた EU のさまざまな取り組みにも拘らず、ユーロ圏の一部の国々における財政の先行き不安の高まりは、金融システムに対する懸念を拡大し、金融資本市場への否定的な影響を与える可能性もあります。つまり、景気が下ブレするリスクが完全に回避されたわけではなく、引き続き金融資本市場の動きや財政緊縮の影響に留意する必要があります。

こうした厳しい国内外の情勢に加えて、停滞する経済成長、ますます増大する負債、そして、地方の衰退などを捉えて、ともすれば日本の先行きに対する悲観的な見方をする向きも少なくありません。

しかし、我が国の製品開発能力、技術力、生産力は、依然として国際水準を凌駕する一流のレベルにあります。そして、多くの国々が、自らの経済成長を実現するために、我が国のこうした技術やノウハウを必要としているのも事実です。

また、我が国は丸一となって東日本大震災の未曾有の被害からの復興に向けて努力を続けていますが、そのプロセスにおいては、災害に強い新しい都市作りのためのシステムや、再生可能エネルギーの開発、あるいは農林水産業の再生や環境回復などの分野で、数多くの新しいアイデアを産み出すとともに、技術を開発し、従前にも増して世界をリードしつつあります。

我が国はこのように依然として大きな底力を持っているということを、私は、改めて強調したいと思えます。

最近では、海外展開する日本企業のビジネス・スタイルにも変化が見られるようになりました。例えば、IT の発達や、これまでの地理的概念を大きく変えつつある中で、大都市ではなく、むしろ、質の高い労働力や資源を確保することができ、しかもコストを安く抑えることのできる

地方都市の魅力が大きく注目されるようになっていきます。こうした中で、今後、海外拠点の分散化は益々進んでいくものと考えられます。また、円高という、いわば逆風を逆手にとって海外企業を買収し、マーケットの拡大を図ることに成功した例もあります。

こうした時代にあって、ロッキーマウンテン地方を舞台として、我が国とアメリカの企業が力を合わせて、北米はもとより、ひろく国際的なマーケットを確保していく可能性は大きく広がっていると言えましょう。

私は、国際ビジネスの最前線にある JFA 会員企業各位が、当地において、より快適なビジネスを展開するための環境整備を行っていくことが、日本政府の出先機関である総領事館の最も重要な任務の一つと考えております。在デンバー総領事館としては、本年は、こうした面での努力を一層強化して参ります。皆様と力を併せて、元気な日本を取り戻すために、コロラドからオールジャパン体制による力強いメッセージを発信していこうではありませんか。

また、コロラド州の在留邦人社会の発展のために行っておられる JFA の活動の数々は、まさに、我が国政府の領事業務の一翼を支えてくださる貴重なものです。この分野でも緊密な連携を維持しながら、引き続きご支援を賜りたいと考えております。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様にとりまして本年が素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げて、私のご挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。